

**\* 東京天文台にあった3つの顕微鏡**

アーカイブ室新聞229号に、基線尺倉庫で発見した万能顕微鏡(写真1)について報告した。そして2009年4月17日発行のアーカイブ室新聞168号に「島津製微小硬度計発見」の記事を書いた。この「島津製微小硬度計」は非常に重い顕微鏡のような形(写真2)をしていた。また、プレミアム(PMC)には斉藤国治先生が使っていた普通の顕微鏡(写真4)が持ち込んである。斉藤国治先生グループの備品には「ブルークロス」マークがついているのですぐにその所有者が知れるのである(写真3)。



写真1 Leitz 万能顕微鏡



写真2 島津硬度計



写真3 ブルークロスマーク



写真4 斉藤先生の顕微鏡

齊藤先生の顕微鏡は千代田光学株式会社製である。この顕微鏡は対物レンズ、接眼レンズ全てが揃っていて最大 900 倍まで拡大倍数表(写真 5)がある。

千代田顕微鏡 (鏡基 A)					
第 2745 号 拡大倍数表					
鏡筒長 160 耗・明視距離 250 耗					
(但シレホルベル除去ナシタル際ハ鏡筒長ノ日盛ヲ 170 耗ニ合セル事)					
対物鏡	接眼鏡				
	5x	7x	10x	15x	P10x
10	50	90	100	150	150
20	100	140	200	300	200
40	200	280	400	600	400
90	450	630	900	1350	900

昭和 年 月 日  
千代田光学工業株式会社  
(東京都北多摩郡三鷹町)

写真 5 顕微鏡の拡大倍数表

プレミアム級の収蔵品の展示としては、この 3 点の顕微鏡セットはおもしろいと思  
い、さっそく一つの展示台に並べてみた(写真 6)。なかなかいい!

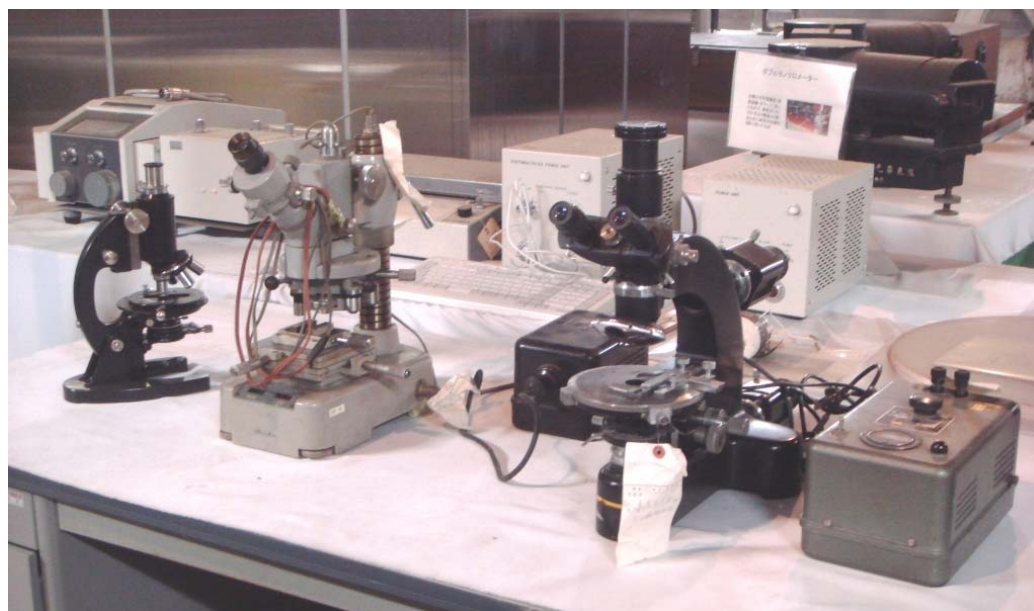


写真 5 顕微鏡 3 点セットとして展示

9 月 9~11 日、水沢 VLBI 観測所で「第 29 回天文学に関する技術シンポジウム」があった。その際、水沢 VLBI 観測所に所蔵されている機器類を見る機会があった。その収蔵品の中にやはり顕微鏡が 1 個置かれていた。天文台では顕微鏡はどのような目的で使用されたか知らないが、少なくとも水沢、三鷹の天文台には顕微鏡があった。